



葛飾キャンパス



藤嶋昭学長から
松本洋一郎学長へ
バトンリレー

Contents

- 2 松本新学長からのご挨拶
- 5 平成29年度学位記・修了証書授与式
- 6 第109回新年茶話会を開催
- 7 関連団体・諸会だより
- 10 支部だより
- 13 卒業生だより
- 16 理科大の研究室紹介 **新企画**
- 18 在学生だより
- 20 大学トピックス
- 22 理窓会トピックス
- 23 理科大のルーツを求めて **新企画**

松本新学長からのご挨拶

学長就任にあたって

東京理科大学学長 **松本 洋一郎**

この度、第10代学長に就任いたしました松本洋一郎です。「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」という本学の理念を、長年にわたって実践されてきた藤嶋昭先生から襷(たすき)を受けたことは、非常に光栄であるとともに、その責任の重さも感じています。

強みを伸ばし、さらなる発展を

2016年に示されており長期ビジョン「TUS Vision150」を踏まえて、東京理科大学は科学技術分野において、世界レベルで活躍できる人材を育成していく必要があります。そこで私に課せられた最初の仕事は、本学独自の強みをさらに伸ばせる環境を作り、合理的な発展の方向性を立案することだと認識しております。長期ビジョン達成のための施策や方法論は、学生諸君と教員・職員の方々、理事など執行部の方々と、自由闊達な議論をしながら策定していきます。

東京理科大学の教育方針や実績については、すでに社会的にも高い評価を得ています。一方、将来にわたって本学が存在し続けるためには、産業界や理窓会の皆様から、支援に値する大学とご判断いただけるよう、自らの価値を



さらに高めていかねばなりません。そのためまず、私たちの強みの一つである教育力に加えて、研究力をより効果的に発信し、産学連携がしっかりと機能するような構造を学内に作っていく考えです。

研究力強化に関して、ある程度以上の規模の研究プロジェクトについては、研究責任者に寄り添い予算管理や進捗管理などを担うプロジェクトマネージャーを適切に配置する必要があると考えています。また、優れた教育・研究方法を実践している教員を評価、顕彰し、他の学部や研究室でその内容を共有できる仕組み作りにも着手する予定です。その狙いは、教員同士のコミュニケーションをいっそう円滑にし、さらには、教員と学生との緊密な一体感を醸成していくことにあります。

学長退任にあたって



学長としての職務を 楽しくつとめた8年間

前東京理科大学学長 **藤嶋 昭**

平成22年1月の学長就任以来、理事長を始めとする理事の方々、副学長、学部長・研究科長を始めとする先生方、職員の方々の御支援、御協力により、本年3月末日で学長としての任期を終えることとなりました。任期中これまでお力添えをいただいた皆様に心からお礼を申し上げます。



中期的には、社会人や外国人の入学生をさらに増やしていきたいと思っています。多様なバックグラウンドを持った人々が集まり、活発な議論や研究が行われている環境は、とりわけ日本の高校を卒業してすぐに入学した学生諸君にとって、自身の将来を考える上でも有益になるはずで

創造的な教育・研究に取り組もうとする教員、学生が広く国内外から集い、多様な意見が渦巻く中で、組織全体で

は重要な目標や意識が共有されているという、オープンな教育・研究環境の整備。また、多様化、複雑化する世界の中で、課題を自ら設定し、最善な解決法を提示できる人材を育成する組織づくり——。こうしたことが、自らの使命だと考えています。

東京理科大学のさらなる発展に向けて、皆様のご支援とご協力を賜りましょう、よろしくお願い申し上げます。



松本学長略歴

松本 洋一郎(工学博士)

昭和24年(1949年)4月25日生まれ(69歳)

昭和47年(1972年)東京大学工学部機械工学科 卒業

昭和52年(1977年)東京大学大学院工学系研究科 博士課程修了

職歴

昭和52年(1977年)東京大学工学部 講師

(昭和53年 助教授、平成4年 教授)

平成21年(2009年)東京大学 理事・副学長

平成27年(2015年)(国研)理化学研究所 理事

平成27年(2015年)(国研)国立がん研究センター 理事[非常勤]

受賞歴(主なもの)

平成22年(2010年) APACM Award for Computational Mechanics

平成22年(2010年) ASME Ted Belytschko Applied Mechanics Award

平成27年(2015年) 東京都功労者表彰(技術振興功労)

その他受賞多数

学会などにおける主な活動

(一社)日本機械学会 会長(第88期)

日本学術会議 会員・第三部 機械工学委員会委員長(第23期)

米国機械学会フェロー(終身会員)

そして、こうよう会の皆様が、大学と連携のもと教育や学生生活の充実を図るために御理解と御支援をいただいていることにも改めて感謝申し上げます。

わが東京理科大学は、実力主義の教育や、理科大ならではの優れた研究成果により、すでに社会から極めて高い評価を得ておりますが、「世界の理科大」として、創立150周年を見据えながら、今後益々充実・発展していくことは間違いないと確信しています。

8年間、学長としての職務を楽しくつとめさせていただきありがとうございました。

心より感謝申し上げ、退任の御挨拶とさせていただきます。

理窓会新体制

理窓会新会長挨拶

卒業生としての誇りを持とう!

この度、石神一郎会長から襷を受け継ぎました。歴代の大先輩に遠く及びませんが、私なりに誠意をもって会の発展に尽くす覚悟です。経験豊かな副会長、常務委員とプログラムを組んで頑張ります。

増淵 忠行 (理・物1968)



理窓会ルネサンス

歴史と伝統を誇る東京理科大学ですが、それを支えてきた理窓会も幾多の試練を乗り越え、平成17年にスタートしたのが「理窓会ルネサンス」でした。それから13年が経過。過去を振り返り、しっかり「守らねばならないこと」、時代や社会の情勢変化に合わせ「変えなければいけないこと」など、しっかり検証・再構築し、理窓会の目的達成のため尽力します。

情報発信を通して大学発展の支援を!

理窓会ルネサンスが開花した時から住所判明全卒業生に紙ベースの情報を発信して参りました。

一方ホームページやFacebookなどを使ったネットワー

クづくりも進んできました。またホームカミングデーも定着して参りましたが、予算面での悩みも尽きません。「誰のために」「何のために」を念頭に置き予算管理をしっかり行いたい、費用の有効活用を心がけたい。

卒業生としての誇りを持とう!

大学が、理窓会が「何をしてくれるか」でなく、卒業生お一人おひとりが母校に対し、後輩に対し「何が出来るか」を考えて欲しい。「真の実力主義を受け継いで、科学と技術の新しい未来」へ挑戦している東京理科大学の卒業生であることに「誇り」をもって日々過ごせることを願っています。皆様のご支援を心からお願いいたします。

【新副会長】



坂本 功 (理・数1966) 前副会長

引き続き副会長の大役を拝命いたしました。先輩役員のご努力による理窓会の発展を踏まえ、更なる発展を目指したいと思います。



橋本 巖 (理・物1969) 元東京理科大学理事

不慣れな点も多くご迷惑をおかけ致しますが、皆様方のご教示をいただきながら副会長としての職責を果たしていきたいと思ひます。



矢部 博 (理・応数1977) 東京理科大学理事

理窓会の更なる発展のために、創立137年を迎える母校および卒業生の方々と連携して副会長の大役を果たしていきたいと思ひます。



山本 幸央 (理工・経1977) ビジネス同窓会会長

微力ではありますが、理窓会の発展のために誠心誠意努力してまいります。皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願ひします。



小林 秀至 (理工・電1979) 学生支援部長

「適者生存」を心して、PDCAサイクルを繰り返し、伝統あるこの組織存続に誠心誠意精進します。ご指導の程お願ひします。

【監査委員】

藤井 浩 (工・機1969) 税理士

富岡 康夫 (理・化1973) 理窓教育会会長

【常務委員】

大岩 昭之 (工・建1968) 築理会会長

加賀谷 秀樹 (理工・物1973) 宮城支部長

上村 直樹 (薬・製薬1986) 薬学部同窓会会長

小嶋 延吉 (理・数1970) 埼玉支部・副支部長

岡本 公爾 (工・工化1973) 関西連合会会長

樽谷 隆 (理・化1989) 神奈川支部・副支部長

松原 秀成 (理・物1970) 理窓教育会副会長

山崎 晃弘 (理工・建1976) 野田建築会会長

佐竹 信一 (理工・機1990) 東京理科大学教授

廣瀬 和昭 (理・数1973) 東京支部・副支部長

西川 英一 (工・電1981) 東京理科大学教授

松田 一朗 (理工・電1991) 東京理科大学教授

近藤 明 (工・工化1973) 「理窓」編集委員長

兵庫 明 (理工・電1984) 東京理科大学理事

常務委員より

昌子 久仁子 (薬・製薬1977) 同窓経営者会

この度、理窓会常務委員を拝命しました昌子(ショウジ)久仁子でございます。

理窓会のミッション“会員相互の親睦を厚くし大学の発展に協力するとともに社会に貢献する”に基づき、卒業生の活動・ネットワークづくりの応援や東京理科大学が理系大学の特色をさらに活かした大学となるよう、また、女子学生の理系大学への進学促進、女性活用の応援に尽力したいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

梅原 たまき (理・応数1989) 元こうよう会会長

このたび、常務委員を務めさせていただくこととなりました。諸先輩方の中で身の引き締まる思いでございます。卒業後は大学から遠のいておりましたが、平成25年に理科大父母会である「こうよう会」の会員となり28年度には会長を務め、理窓会の皆さまとも交流を深めさせていただきました。こうよう会での経験を生かし、微力ながら理窓会活動に尽力したいと思っております。皆さまのご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

平成29年度学位記・修了証書授与式を挙行

3月19日(月)に日本武道館(千代田区)で平成29年度の学位記・修了証書授与式が行われました。本年度は、学部3,770人のほか、修士1,368人、博士(論文博士含む)65人、専攻科7人の計5,210人に学位記・修了証書を授与しました。

藤嶋昭学長は式辞において、フランスの哲学者でまた数学者であったルネ・デカルトや孔子の言葉を紹介し、「読書の大切さ」「1日1日の大切さ」「交友関係の大切さ」に関して卒業生、修了生にメッセージを送りました。

また、本山理事長からは、「今後、必ず、自分自身で、直接、

事実確認を行い、正しい自己判断による生き方を貫いてもらいたい。自分自身の実力を積み重ねていって、明日の自分を今日の自分以上へと高めていく、いつも前向きな気持ちを心がけてください。逆境や不遇のときも、前向きにとらえると同時に、自分は運が強いと強く思って積極的に生きていくことが大切です。明けない夜はないのです。」との祝辞を送りました。

東京理科大学理窓会の増淵副会長からの祝辞、卒業生代表からの謝辞の他、東京理科大学大村賞、東京理科大学奨励賞の授与や校歌斉唱なども行われました。



藤嶋学長による式辞



本山理事長による祝辞



増淵理窓会副会長による祝辞



学位記・修了証書授与の様子



東京理科大学奨励賞授与の様子



東京理科大学大村賞授与の様子



卒業生代表謝辞の様子

平成30年度東京理科大学入学式挙行

4月9日(月)に日本武道館(千代田区)で平成30年度の入学式が行われ、本年度は学部生、大学院生、専攻科合わせて約5,343名が入学しました。

松本洋一郎新学長は式辞の中で、「本日、皆さんは、輝かしい本学の歴史を受け継ぐ主役となりました。これから始まる大学生活で、自ら選択した学問領域を深く掘り下げ、『分かる、楽しい、面白い』を実感してください。」とメッセージを送りました。



松本学長の式辞

新入生代表宣誓

第109回東京理科大学理窓会新年茶話会が開かれました

第109回新年茶話会が平成30年1月6日(土)午後2時30分から、ホテルメトロポリタンエドモントで開催された。第1部の祝賀会は、藤嶋昭学長文化勲章受章をはじめ大勢の叙勲・褒章受章者の皆様をお祝いする会となり、石神会長挨拶、来賓祝辞の後、学長より文化勲章受章講演を行っていただき、受章時の皇居での様子などもお伺いできる機会となった。



藤嶋学長文化勲章受章講演

1 祝賀会で紹介された受章者

- ◎ 文化勲章受章 藤嶋 昭(学長)
- ◎ 叙勲・褒章受章 加藤 芳丈(理・化1953) 磯脇 一男(理・数1964) 中浜 邦夫(理・数1969)
田村 仁(理・化1969) 池田虎之助(理・物1957) 浅島 誠(副学長) 江成 功(理・数1967)
新保 隆(理・物1970) 石神 一郎(工・建1970) 長澤 智則(理・化1972) 平方 宏(工・経1976)
- ◎ 理窓会参与記授与 酒井 康行(理・化1964)
- ◎ 3世代理窓会会員 亀田 徳幸(理・化1961) 亀田 恒徳(理・化1992) 亀田 安希子(理・化1992) 亀田 こより(現経・経1年)
特別表彰 遠藤 忠一(理・応物1941) 藤井 剛(理・化1979) 藤井 亮(工・機2002)
- ◎ 理窓会坊っちゃん賞表彰 山田 義幸(理・化1954) 水野 澄(理・数1965) 三分一 博志(工・建1992)

2 懇親会

第2部の懇親会は、福田副会長より開会の挨拶、森野維持会会長の乾杯で開催された。会は総勢271名の参加者のもとで盛大に行われ、新年に相応しい懇親を深める茶話会となり、増淵副会長の閉会の挨拶で終了した。



本山理事長祝辞



石神理窓会会長挨拶



森野維持会会長の乾杯

受章された方々の集合写真

坊っちゃん賞を受賞して

2018年の坊っちゃん賞を受賞して

山田 義幸 (理・化1954)

1997年に先人の努力で理窓会のHPが開設されました。以来多くの卒業生がボランティアで情報の発信とネット構築に関わり、遅れて参加し、会誌「理窓」と情報誌の編集にも携わった私がその代表として賞を頂いたのだと思います。



しかし、激動する社会で生活する20万人余の卒業生に貢献する情報ネットワークはやっと入口に立ったばかりです。

私は22歳から70歳までDIC(株)という化学会社で、技術、生産、品質管理、マーケティング、経営などに関わり、インターネットによる第3次産業革命は現役中に体験しました。

今期待することは、まさに進行中のIoT、AIによる第4次産業革命で激変する社会への対応です。大学と卒業生で成り立つ理科大コミュニティのシリアスで価値のある情報を刻々拾い上げ、シームレスなネットワークで速やかに配信する、それを数年のうちに実現したい、そのお手伝いをしたいと思います。

科学する高校生に期待

水野 澄 (理・数1965)

職歴を重ねて入学し、昭和40年に公立高校教諭として発進。食わず嫌いを改めるべく数学メニュー工夫など現場に徹した。平成4年度から校長職となり、県高文連会長など7校32年間、役職を全うし定年で退職。

続いて私学「介護福祉士養成校の設置」に関わり、県知事認可・厚生大臣指定を受け校長就任。理窓会の新企画「坊っちゃん科学賞」は平成21年創設で開催通知全国1700校、教育委員会(東京・神奈川・千葉・埼玉)、JST、校長協会等に後援を要請、高校生参加の積極的な指導を期待。高大連携事業、大学と高校現場と理窓会(首都圏理窓教育会)の協調による伝統の教員養成と高校生の憧れ創生、東京理科大学の使命で建学理念に沿う社会貢献ともなる。「みんなで育てよう」の期待ひたすら、長年のご協力に感謝するばかりです。



平成29年度新規教員試験合格者140名超える ～理窓教育会～

理窓教育会は、平成29年5月28日に理事会を開催し、教育会全国支部書面総会の議案等を了承し活動が開始された。活動の概要は、全国支部への書面総会アンケートとして送られ、そのアンケートを集約し理事会で検討し結果を会報にて各支部に報告された。そして、大学との連携も以下のように実施された。



1 大学との連携

教員採用試験対策講座は、例年通り理窓教育会から講師を推薦するとともに教職課程指導室に所属している理窓教育会会員が運営に携わった。

(1) 教員採用試験対策4年生・3年生講義コース

4年生コースは4/1～6/24の日曜日8回実施し、理窓教育会の先生方12名が約60名(今年度の受験者)の学生を指導した。3年生コースは10/1～12/3の日曜日8回理窓教育会の先生方13名が約70名の学生を指導した。

(2) 私学教員採用試験対策講座

平成30年1月10日、私立学校教員を目指す学生対象の講座が行われ、三度、理窓教育会の先生方に指導していただいた。私立学校に採用されて数年を経た若手教員にも講師になってもらい、新鮮な情報を学生たちに知らせた。参加者全員が一人ひとり、模擬授業、模擬面接に挑戦した。

(3) 教員採用試験対策講座宿泊コース

平成30年2月26日から2泊3日の日程で野田校舎セミナーハウスにて行われ、80名が参加した。講師は上記同様で理窓教育会の先生方18名が務めた。

内容は、午前中は「教育時事」「生徒指導」「教科指導」の講義の後、それらの教育課題に関する1000字程度の論作文を作成。午後は「集団討論・場面指導」「個人面接」「模擬授業」の

練習に取り組んだ。学生たちには、ハードスケジュールだったが、充実した三日間を過ごし、7・8月の採用試験に向かう決意を固めていた。

(4) プレ教員講座

平成30年3月3日、理科大学教職教育センター主催で実施された。冒頭に藤嶋昭学長から激励のお話をいただき、その後、理窓教育会の会員である公立中学校・高等学校の現職校長お二人に講演をしていただいた。内容は、この4月から教壇に立つ予定の学生たちに対し、初任者としての心構えを持たせる講座であった。

2 平成29年度新規教員採用試験合格者激励会

平成29年度理窓教育会主催の新規教員採用試験合格者激励会を平成30年3月3日(土)午後3時から8号館学生食堂で開催した。今年度の教員採用試験合格者数は140名(平成30年2月21日現在)を超えており、各地区にて採用数が減少している中で、理科大の学生たちはよく奮闘した。これらの合格者は、4月1日付けで全国各地に向け赴任する。

激励会には、本学吉本成常務理事・藤嶋昭学長・石神一郎理窓会会長・眞田克典教職教育センター長・木内晴一こうよう会会長をはじめとしてご来賓6名、教育会会員の現職・OB教員等35名、新規採用教員予定者30名、総数約70名が出席し盛大に行われた。

第2回演奏会開催 ～東京理科大学混声合唱団OB会～



理声会混声合唱団KAGURAは、東京理科大学混声合唱団OB会(理声会)の会員有志で構成されています。歴代の学生が途切れることなく積み重ねてきた定期演奏会が、2013年12月、第50回を迎えるにあたり、記念事業の一環として、現役学生とOBの合同ステージが企画されました。50名ほどのOB・OGの参加を得て練習に励み、演奏会は成功裏に終えることができました。久々に合唱活動を再開し

て参加した多くのメンバーが継続を望んだことから、正式に合唱団として再結成し発足したのがこの合唱団です。

その後新しい卒業生も加えて、2016年7月2日には、葛飾キャンパスの図書館大ホールに於いて、多くのお客様を迎えて第1回演奏会を開催しました。更に新しいメンバーを加え、去る3月4日(日)に

同じく葛飾キャンパスで第2回演奏会を開催しました。現在は第3回演奏会に向けて練習を始めたところです。

愛称のKAGURA(カグラ)とは、東京理科大学の前身である東京物理学校が1906年に移転して今に至る「神楽坂キャンパス」に思いを馳せて命名したものです。「東京理科大学(Uni.)混声(Konsei)合唱団(Gassyoudan)同窓会(Alumni Assosiation)のアナグラムにもなっています。

毎年80名前後が新会員に ～理窓博士会～

理窓博士会(DR会)は、東京理科大学の学位を取得した方々と他大学の学位を取得した本学卒業生、さらに学位を有する大学教員で構成され、現在の総会員数は約3,400人、そのうち大学から学位を授与された会員はおよそ2,500人となっています。また、毎年80名前後の方々が新会員として入会しています。昨年秋より、新会長に大学の秋山仁先生をお迎えし、活動を進めております。

DR会では例年、その前年度中に大学の学位(博士)を取得された方々、及び他大学等で学位を取得されたことが新たに判明した同窓をお招きし、学位(博士)新取得者記念講演会・祝賀会を開催しています。第55回学位(博士)新取得者記念講演会・祝賀会は、平成29年9月30日(土)に開催されました。記念講演会の部はDR会主催のもと、神楽坂キャンパス・記念講堂で開催され、20名の新取得者が出席されました。DR会前会長・幡野純先生の挨拶に続き、藤嶋昭学長から祝辞を頂きました。続いて12名の新取得者から学位論文に関わる記念講演があり、その後、新取得者を代表して長谷川淳子氏に記念品を授与しました。さらに、昨年の記念講演会で優秀な発表をされた5名の方に学術奨励賞を授与しました。記念講演会の後半の部では、特別講演として浅島誠副学長より「私の歩いてきた研究生生活～次世代へのメッセージ～」とのタイトルでお話を頂戴しました。

祝賀会の部は学校法人東京理科大学主催のもと、アグネスホテル・アグネスホールで開催されました。本祝賀会には新取得者の同伴者の方々も招待され、約100名の出席者の中、盛大にとり行われました。まず初めに、平川保博大学理事より開会の挨拶を頂き、理窓会副会長・福田義克氏、理窓博士会会長・秋山仁先生よりご祝辞を頂きました。矢部博大学理事からの乾杯のご発声の後、懇談の時間となり、たいへん華々しく和やかな雰囲気となりました。途中、新取得者を代表して出水俊彦氏から謝辞が述べられ、最後に兵庫明大学理事から閉会の挨拶を頂き、閉会となりました。

第56回学位(博士)新取得者記念講演会・祝賀会は今秋(9月末)に計画しております。詳細は追ってご案内します。会員の皆様には奮ってご参加いただけましたら幸いです。



第55回学位新取得者記念講演会記念撮影(2017, 9/30)
(DR会HP:<http://www.rs.tus.ac.jp/risoudr/index.html>)

現役には活動費支援 ～バスケットボール部&OB・OG会～

当会は会員相互の親睦を図るとともに、総会や交流戦、現役の試合応援などを通して理科大バスケ部の発展支援を目的としています。毎年秋にはOBOG戦で汗を流し、学食又は理窓会倶楽部で総会と懇親会を開催、また現役には活動費の一部補助や試合会場での応援をしています。

昭和33年(1958年)に発足し、時を経て平成15年(2003年)に再出発、平成25年(2013年)2月には盛大に創部60周年記念パーティを開催。HPやフリーMLなどを活用し、また、上智大、東京電機大OBOGとの定期戦も開催しています。部



の歴史は昭和27年(1952年)に関東学生連盟参戦、昭和48年(1973年)より神楽坂野田合同(統一)チームに、現在は金町含む3地区統一で学連の試合に出ています。女子は昭和52年(1977年)頃より関東学連へ参戦しています。

今後も理科大バスケ部発展を促進し、OBOG会の絆を強くして参ります。
<http://risoukai.com/basketball/>



関連団体交流会開催、38団体、73名参加



3月17日(土)PORTA神楽坂7階会議室で第6回理窓会関連団体交流会が開かれました。今年度の参加団体は38団体、出席者73名。なお、昨年は32団体、70名でした。又、登録関連団体も67団体になりました。会は関連団体対応委員会委員長福田義克氏の司会で始まり、理窓会会長石神一郎氏の挨拶、大学理事(理窓会担当)矢部博先生の挨拶がありました。矢部先生は、TUS Vision150での理科大の将来計画、又、校友会(理窓会)との連携の大切さなどを話されました。そのあとは本題の各関連団体からの活動報告、これは司会者から1団体1分程度とありましたが、1分ではなかなか伝えき

れません。どうしても長くなりますが、各団体からの報告・話は参考になるところもあり皆聞き入っていました。関連団体にこの日の数日前に正式加入された「天文研究部同窓会」、「あれ、今まで入っていなかったの」と驚きの声が聞こえてきました。又、工学部建築学科校友会「築理会」からは、今でも、会員7,700名余の紙ベースの名簿を発行(昨年)しているとの報告もありました。このあとは、場所を理窓会倶楽部に移しての和やかな懇親会。交流会は有意義な情報交換の場でもあり、次年度も又と散会になりました。



第100回全国算数・数学教育研究大会 東京理科大学で8月開催

理窓会関連団体として承認していただいております、東京理科大学数学教育研究会(略称 理数研)です。理数研は昭和34年4月に創立され、今年度末で60年の歴史を刻むこととなります。全国の中学高等学校に、理科大出身の教員が多いということはよくご存じかと思えます。

日本の数学教育に大きな影響を与えた小倉金之助先生の「数学教育の意義は科学的精神の開発にあり、その核心は関数概念の涵養にある。」の考えを基本理念として数学教育の研究活動を継続しています。現在の研究主題は「『科学的精神』を育成するための数学的活動の研究～未来を予測する数学の検討と実施～」です。

主な活動は毎年4月に開催される総会・研究大会、年8回開催される月例会、年2回の会誌「数学教育」の発行、数学

教育シンポジウム(合宿)の開催などです。これらの活動および会員相互の交流を通して、会員の数学教員としての教材開発力や授業力の発展に寄与していると考えています。メンバーは学生から大ベテランまで、老若男女が参加しています。

平成30年8月には、日本数学教育学会(日数教)主催の第100回全国算数・数学教育研究(東京)大会が東京理科大学を中心に開催されることになりました。理数研はこの大会を共催し、実行委員長(池田文男先生)や大会役員に多くの理数研会員が就任し大会の成功のために邁進しています。理窓会の皆様にも、この大会にご支援いただけますようお願い申し上げます。

日比谷高校教諭 荻野大吾(理2・数1985)



総会・研究大会



月例会

新加入関連団体

【理窓ビジネススクール】

平成30年より従来のイノベーション研究科技術経営専攻(MOT)はグローバル基準の理科大ビジネススクール経営学研究科技術経営専攻と変革します。現在でも多くの理科大の卒業生が企業の経営層にて活躍されていますが、理科大にて経営に関連する分野を学びビジネスの世界に飛び込んだ人、またMOT、経営学部、経営工学、情報・システム関連、数理・統計卒の技術のわかった経営者のネットワークをすることを目的として設立いたしました。新しいビジネス、イノベーションを理窓会メンバーと推進できるように活動してゆきたい。

設立幹事代表 田中芳夫(工・電1973)

【天文研究部同窓会】

天文研究部は1949年に創設以来、天体観測及び研究に多くの実績を残してきた。同窓生には天文台、JAXA、科学館、プラネタリウム、学校、企業などの研究者、教育者、技術者として第一線で活躍する人も多い。OB会としては、北海道日食観測で大成功を収めた1963年に発足し、1973年アフリカ日食観測隊を皮切りに、多くの海外遠征を中心に現在も活発な活動を継続している。2012年国内金環日食では、インターネット中継に成功したことも記憶に新しい。HCDでは移動プラネタリウムなどに既に参画しており、このたび理窓会関連団体として、さらなる活躍をしたいと思う。

会長 山本威一郎(理研・物1974)

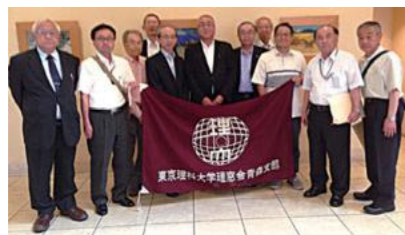
支部だより



「おもしろサイエンス」が特別奨励補助対象となる

《青森支部》 支部長：阿保 民博(理工・物1973)
日 時：平成29年7月8日(土)
会 場：青森ワシントンホテル

阿保支部長の開催挨拶の後、平成28年度の活動報告・会計報告があり、青森地区の会員有志が毎年企画している「おもしろサイエンス」が特別奨励補助の対象となり、理窓会からの支部活動補助金が増額支給されたことが報告されました。写真撮影後、懇親会へと続き、阿保支部長挨拶、吉本常務理事乾杯の音頭で、思い出話や近況報告で懇親を深めました。次年度総会開催地である弘前市での再会を約束し散会しました。



プサルターという弦楽器演奏で心を癒される

《秋田支部》 支部長：奈良 伯夫(理・応物1966)
日 時：平成29年10月21日(土)
会 場：ホテルパールシティ秋田竿燈大通り

皆様の呼びかけのお陰で、出席者はここ数年増え続け、今年は39名でした。特に平成卒の若い方が増えており、嬉しい限りです。次いで講演、『プサルターフレンズ』メンバー9名が各自思い思いに手作りした、プサルターという弦楽器で、うるわしき野山(S41年NHKで紹介)など5曲を演奏して下さいました。



郷愁を誘う音色に暫し時を忘れ、心が癒されました。最後は懇親会。和やかな雰囲気のもと楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



姜尚中先生講演とグラスハーブの演奏で魅了される

《埼玉支部》 支部長：長澤 智則(理・化1972)
日 時：平成29年7月2日(日)総会
平成30年1月27日(土)新年会
会 場：パレスホテル大宮

講演会は、東京理科大学特命教授・姜尚中様より、「若者の人生儀礼」という演題でご講演をいただきました。若かりし頃、誰もが経験した「通過儀礼」。大学の同窓生だからこそ共有できる感覚を呼び起こすような素晴らしいご講演でした。

懇親会は、別場に移して開催した。まさに和やかな懇親の場となりあつという間の2時間であった。

恒例の新年会は、パレスホテル大宮にて盛大に開催した。本学OBご夫妻をお招きし、グラスハーブの演奏を披露していただいた。幻想的な音色に参加者全員が魅了された。



森野氏の理科大創世期の話に聴き入る

《岩手支部》 支部長：福士 猛夫(理工・数1979)
日 時：平成29年11月18日(土)
会 場：ホテルエース盛岡

支部総会では平成28年度会計決算報告と平成30年度支部役員選出、会則改正の3つの議案が承認された。その後森野義男(維持会会長)からは理大創生期のお話があった。普段見る機会のない資料画像と巧みな話術に、予定時間が短かったことを残念がる会員の方も多くいた。写真撮影の後は例年と同様に懇親会を開催した。会員同士の近況報告や学生時代の思い出話に花が咲き、今年も和やかな雰囲気です。会を開くことができました。



理学普及に創立者の苦勞に耳を傾ける

《群馬支部》 支部長：中澤 治(理・数1980)
日 時：平成29年11月25日(土)
会 場：ホテル ラシーネ新前橋

総会では、福田理窓会副会長からは、理窓会の活動について丁寧な説明があり、本会の意義をあらためて確認した。森野維持会会長からは、東京理科大学の草創期についてご説明いただいた。明治初期から理学普及のために創設者たちが苦勞を重ねて運営にあたる様子が伝わり、参加者一同が興味深く耳を傾けた。



懇親会では、浜名群馬大学名誉教授から藤嶋学長のご研究について説明がなされた。その後、各人の近況報告が行われ、今後の盛会を誓って散会となった。



数々の演芸や歌で爆笑や芸に酔いしれる

《神奈川支部》 支部長：細川 秀夫(理・化1976)
日 時：平成30年1月20日(土)
会 場：ローズホテル横浜

新年を彩る演芸は、横浜地区マジック同好会有志のマジックで始まり、その素晴らしい手さばきに感嘆した。宮田陽・昇コンビの漫才へと移り、抱腹絶倒の笑いネタで爆笑の渦に包まれた。懇親会は、各テーブルが賑やかな談笑の声で盛り上がる中、同窓の祥子様の歌の披露、初参加者9名からの挨拶等があり、最高潮に達した。懇親会終了後には、他の公演で遅い到着となった歌助師匠の登場となり、参加者一同は、ほろ酔い気分の中、師匠の素晴らしい落語の語りにも酔いしれた。「奴さん」の踊りの披露もあり、師匠の熱演と芸の奥深さに感服しました。



講演とバイオリン演奏で盛り上がる

《三重支部》 支部長：立松 忠博(理・応数1971)
日 時：平成30年2月25日(日)
会 場：ホテルグリーンパーク 津

総会では東村篤四日市大学環境技術研究機構教授による「忍び寄る生態系の危機その処方箋」、堀内孝三重大学教授による「人工臓器はいま」について講演があった。ミニコンサートとして岩田直人様によるバイオリン演奏をした。総会では時間が押ししてしまい、配布した過去3年分の「理窓みえ」を見て頂き報告に替えた。懇親会では全員に自己紹介をしていただいた。また福井県から山下秀雄福井支部長がご出席された。大盛会のうちに総会を終えることができた。



馬場錬成氏の講演と祥子さんステージで楽しい一時

《和歌山支部》 支部長：谷井 一好(理工・土木1984)
日 時：平成29年11月26日(日)
会 場：ホテル日航奈良

今年の和歌山支部総会は、奈良支部と共催して関西地区同窓の交流を計る「理窓会関西合同交流会」の名称での開催と成りました。合同交流会は、隔年に関西2府4県の各支部が持回り開催をして今回第20回目です。記念講演として同窓の科学ジャーナリスト馬場錬成様の「ノーベル賞受賞大村智先生



について」、続いて歌手祥子様の美しい歌唱に耳を傾けながら同窓の皆様との楽しいひとときを持たせて頂きました。



講演「最近の宇宙論」で大いに盛り上がる

《山口支部》 支部長：福永 健一(理・化1972)
日 時：平成29年11月4日(土)
会 場：ホテルサンルート徳山

講演は、東京理科大学理学部教授辻川信二様による「最新の宇宙論」を拝聴した。その中で、ハッブルの法則からビッグバン理論などを分かりやすく解説された。宇宙の起源への興味関心をかきたてる講義内容であり、質問にも丁寧に分かりやすく答えていただき大いに盛り上がった。午後はこうよう会と合同で茶話会をもち、情報交換等を行った。出席者は多岐にわたっており、参加者同士の交流・情報交換がなされ、親睦が深まった。



「高砂ゆかりの人物伝」の話に聴き入る

《兵庫支部》 支部長：宮宅 勇二(理工・建1976)
日 時：平成10月1日(日)
会 場：兵庫県民会館7階 亀の間

今回の講演はS37年理学部化学科卒業の吉田登氏に専門分野ではなく、歴史の話「高砂ゆかりの人物伝」のお話をいただいた。カネカの研究室を退職された後、趣味の歴史散策に乗じて、本の出版までされた吉田氏は、現在ボランティアで高砂市の歴史散策の案内人として、度々地元の新聞にも紹介されている。今回も、ご自身が出版された「みなとまち、高砂ゆかりの人物伝」を一人一冊無料で配布した。また、吉本氏の理科大の紹介についても、こうよう会の5人をはじめ、理窓会の参加者も理科大は頑張っているな、との声が聞かれた。



在学中をはじめ現役時代の苦勞話に花が咲く

《島根支部》 支部長：福田 正(理工・数1971)
日 時：平成29年11月5日(日)
会 場：ホテル白鳥

支部長挨拶のあと、理科大と理窓会から活動報告があった。現役を退いた者も多く、詳しい説明に皆感銘を受け、在学中に思いを馳せました。理科大の活躍と今後の方向性、理窓会の海外への拡大など、近年の大きな変化に驚きながらも頼もしく感じた。懇親の場では、恒例となった自己紹介(近況報告)において、前述の大学・理窓会の説明を受けて、在学中をはじめ現役時代の苦勞話に花が咲きました。また、以前は夕食



会でしたが、高齢の先輩も多いため、明るいうちにお帰りいただけるよう近年は日曜日の昼食会にしております。



台風が近づくなかHCDの前日に開催

《高知支部》 支部長：和田 雅史(理工・建築1981)
日 時：平成29年10月28日(土)
会 場：高知会館

ホームカミングデーの前日という事で、大学側からの出席者がなく、ちょっとさびしい支部総会になった。支部長挨拶から始まり活動報告を終え無事に総会は終了、その後はお楽しみ懇親会に突入し大いに懇親を深めることが出来た。こうよう会から、支部長・副支部長に参加いただき誠に有難く感謝申し上げます。尚、出席者の中に会が終わる次第、夜行バスに乗って野田キャンパスでのHCDに参加予定者が居たのですが生憎の台風22号の接近で止む無く断念せざるを得なくなった。



支部だより

福岡 講演会で活気ある支部総会を開催

《福岡支部》 支部長：長 信成(理工・物1973)
日 時：平成29年11月23日(木・祝)
会 場：ホテルセントラーザ博多

講師の高良年彦氏は、福岡で(株)ランドスケープコンコードという建設関連の会社の代表取締役です。氏は建設職人甲子園九州地区理事長をされ、今年の建設職人甲子園の九州大会を運営された方です。「誰のために、何のために働くか〜建設職人業界から日本を元気に!〜」という演題で50分間熱弁をふるっていた。どんなにすばらしい設計があっても、最終的には、技術があり、熱意のある職人さんたちがいなければ、建築物はできません。参加された理窓会会員も感じるところがあったのか、講演後の懇親会でも高良氏の周りには質問する人がたくさんいた。



長崎 「こうよう会」との協力が大切であることを確認

《長崎支部》 支部長：井手 義道(理・物1963)
日 時：平成29年11月19日(日)
会 場：レオプラザホテル佐世保

長崎支部としては会員の増加対策を検討中です。このことは、東京理科大学の学部や院卒で就職した学生の就職先を知るためには、特に支部「こうよう会(父母会)」との協力が大切であること。父母から理窓会の長崎支部長へ連絡していただくことにしています。このためには毎年・7月末に開催される長崎県のこうよう会に理窓会の長崎支部長ほか県の役員が出席して「ご子息が県内へ就職されたら氏名と出身学部や勤務場所などを知らせてください」とこれからもお願いしたい。祥子さんのミニライブが好評でした。



鹿児島 「大河ドラマ『せごどん』と鹿児島」講演で沸く

《鹿児島支部》 支部長：切手 純孝(理工・工化1974)
日 時：平成29年10月28日(土)
会 場：鹿児島東急REI

今年度は支部総会に先立ち、講演会を企画しました。演題は「大河ドラマ『せごどん』と鹿児島」で、講師はNHK鹿児島放送局アナウンサーの内 美登志氏でした。

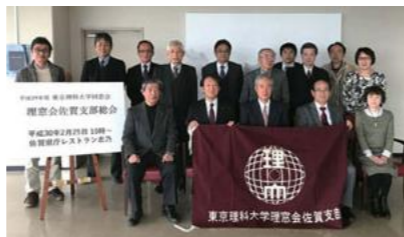
その後、支部総会に移り平成28年度の支部の事業報告並びに会計報告が行われた後、懇親会に移りました。懇親会では、こうよう会からの参加者も交えて、出席者一人一人の近況報告や大学在学中の思い出などで話に花が咲き、和やかな楽しい会となりました。



佐賀 バシー海峡の悲劇の話を聴く

《佐賀支部》 支部長：森永 和雄(理・化1969)
日 時：平成30年2月25日(日)
会 場：佐賀県庁レストラン志乃

理窓会の活動の現状と将来展望について、特に、「ネットワークの構築、関連団体への支援、理窓会独自の活動」について説明を受けた。講演は「慟哭のバシー海峡と私」のタイトルで、10万人を超える日本軍兵士が犠牲となったバシー海峡における正義と自己犠牲を貫いた男たちの話を、その時の駆逐艦の艦長の息子に当たる方をお願いした。今日の日本の礎はこのような方々の犠牲の上にあることを改めて感じとる1日となった。



熊本 地元熊本の日本酒で乾杯!

《熊本支部》 支部長：吉村 圭四郎(工・経工1973)
日 時：平成30年2月10日(土)
会 場：熊本ワシントンホテルプラザ

地震後は2回目の開催を迎えることができ、本山理事長、増淵副会長から大学の課題や理窓会の現状についての説明に傾聴し全員でその認識を深めました。その後の懇親会や2次会では吉村支部長の酒蔵「瑞鷹(ずいよう)」日本酒とともに大いに盛り上がりました。総会の開催時期についても議論を交わし、次回は今秋、11月23日(祝)の予定です。



沖縄 祥子さんのライブで盛り盛り

《沖縄支部》 支部長：仲里 恒雄(理・物1960)
日 時：平成29年10月7日(土)
会 場：沖縄県教職員共済会館「八汐荘」

今年は沖縄の那覇祭・大綱引き等の種々のイベント行事と重なり、例年よりは出席者数が少なかった。懇親会では東京理科大学理学部数学科卒業生の祥子さんを招いて「祥子ライブ」を行いました。「こうよう会」から5名の参加があり、「祥子ライブ」に華を添えてくれました。祥子さんのオリジナルソングの他、沖縄の琉球古典音楽(三線・他)とのコラボによる「芭蕉布」、「涙そうそう」の演奏があり、会場は多いに盛り上がりました。最後に恒例の記念撮影を行い閉幕となりました。



卒業生だより

さまざまな分野で活躍する理科大の卒業生たち。彼らの“今”を紹介します



Freshman
フレッシュマン

建築を通して見る新しい景色

村松 秀美 (むらまつ ひでみ)さん
株式会社日建設計 一級建築士(工・建2010)

2006年、飯田橋にある理科大建築学科の門を叩き、私の建築人生が始まりました。自宅のある牛久駅から大学まで、常磐線の車窓から、徐々に移ろう景色を眺めて通学しました。ある朝、驚く事に満員電車で小学生が乗車してきました。「私の小学校の通学路は水たまりにアメンボがいたり、どんぐりを集めたりしながら歩いたが、この子は線路が通学路なのか?」この体験を卒業設計に生かし「都内の小学生に通学路を」というテーマで、通学路のある小学校を設計し理窓会賞(最優秀賞)を頂きました。2012年、日建設計に入社し、見える景色はさらに変わることになります。グローバル

に活躍する先輩方に囲まれた部署に配属され、中国プロジェクトの担当となりました。高さ200mの超高層オフィスタワーの設計でしたが、隣接地には高さ400mのものが建設中でした。高さで負けている逆境から発想を転換し、地上からの見上げのインパクトで勝負する事を思いつきました。タワー外装が下部でスカートの様にふわっと広がり、低層商業の大屋根へと繋がるデザインを提案しました。遠慮のない3次曲面に、施工精度の不安を指摘されましたが「未だ見た事の無いものを作る!」という気持ちに火が点き仲間と抵抗。打合せを重ね、無事施工主に採用されました。2018年現在、この建築の内装を設計しています。頭上に電球がついた瞬間は変形の無かった建築が、年末に誕生します。喜びを皆で共有し、新しい景色を見る日が待ち遠しいです。

Freshman
フレッシュマン

忙しくも楽しかった小学校教員1年目

岩崎 果奈 (いわさき かな)さん
八王子市立館小中学校小学部 教諭(理・物2017)

教員を始めてから1年が経ちました。私は現在、八王子市立館小中学校の小学部で働いています。大学時代、小学校の免許の取得と、学部の勉強を並行するのは大変でしたが、先生方の熱い御指導や、共に励みながら頑張った仲間たちのおかげで、念願の小学校の教員になることができました。

1年目は2年生の担任でした。最初は自分の力不足を切に感じ、担任が私でなければこの子たちはもっと幸せになれる、申し訳ない、と他の先生と自分を比較して思い悩むこともありましたが、そんな時同僚の先生から「つまらない授業をしていたら子供たちはついてこないよ。教師は授業で勝負。」と言われました。悔しい気持ちもありましたが、その言葉をきっかけに私の見方が変わってきました。毎日の授業準備はもちろん、休みの日も様々な

勉強会に行き、ひたすら授業力を磨きました。こうして勉強していくうちに、少しずつですが子供たちが生き生きと授業に参加するようになり、自然と良い関係も築けてきました。今も大変なことはありますが、「かなせんせー!」と元気に飛びついてくる子供たちに囲まれ、間近でその子たちの成長を見ることができ、幸せを感じています。これからも目の前にいる子供たちの現在の、そして将来の「幸福」のため、ますますパワーアップしていきます。



「大河ドラマ『せごどん』と鹿児島」講演で沸く

《鹿児島支部》 支部長：切手 純孝(理工・工化1974)
日 時：平成29年10月28日(土)
会 場：鹿児島東急REI

今年度は支部総会に先立ち、講演会を企画しました。演題は「大河ドラマ『せごどん』と鹿児島」で、講師はNHK鹿児島放送局アナウンサーの内 美登志氏でした。

その後、支部総会に移り平成28年度の支部の事業報告並びに会計報告が行われた後、懇親会に移りました。懇親会では、こうよう会からの参加者も交えて、出席者一人一人の近況報告や大学在学中の思い出などで話に花が咲き、和やかな楽しい会となりました。



Middle Standing
がんばる同窓生

薬剤師の可能性を広げたい

武藤 順子 (むとう じゅんこ)さん
株式会社ビーフィジカル 代表取締役(薬1984)



私は、理科大の天文研究部に入りたくて、薬学部を受験しました。そんな志の低い私でしたが、薬学部卒業後は、製薬メーカー等で働き、その後、医学翻訳で独立しました。しかし、もっと顔の見える仕事したいと思い、子供が小学校に入ってから、日本体育大学大学院に入学しました。研究内容は、「肥満、運動、食、うつ」でした。ネズミを使った実験が中心でしたが、運動が脳に直接的な素晴らしい効果を示すことに、本当に驚きました。薬学とは文化の違う体育系の学会や飲み会を通して視点が広がったことは大きな宝です。大学院では、Natureのオンラインジャーナルに「イノシンの経口投与が抗うつ効果を示す」という論文を

発表しました。イノシンはATPの代謝産物ですが、鶏肉や鰹節にも含まれているので、経口摂取でも脳に届く面白い物質です。そして、家族の応援のおかげで、体育科学博士を取得しました。

現在は、ダイエットの個人指導や執筆、ダイエットプログラムの開発などの仕事をしています。ダイエットという学術的な響きではないのですが、生活習慣病の予防には、本質的な効果があります。ダイエットは、予防医学の観点では薬よりも社会的価値が高いです。この仕事をしていると、薬剤師が最新の栄養を学び、患者さんに食事のアドバイスができれば素晴らしいのに、と感じます。薬剤師は基礎学力も高く、幅広いすぐれた教育を受けているのだから、自信をもって栄養の舞台でも活躍して欲しいと思います。



卒業生だより

Middle Standing

がんばる同窓生

時には直感やご縁といった 不思議な力に身を任せる

梅津 芽生 (うめづ めばえ) さん
大塚ホールディングス株式会社 総務部
(薬・製薬1998)

私は現在、地元である徳島の地にて、大塚ホールディングスでCSR(企業の社会的責任)を担当しています。CSRの仕事を担当して2年が経ち、社会人になってちょうど20年が過ぎました。

大塚製薬に新卒MR(医薬情報担当者)として入社後、人事部で採用を担当し(採用担当時は、理科大の神楽坂や野田キャンパスに会社説明会でお邪魔させていただいたこともあります!)、役員秘書や企業理念の研修担当の仕事を経た後、現在にいます。楽しみつつも、もがき苦しみながら実験や研究をしていた学生時代の自分では想像もつかない多くのことを入社以来経験しました。



文部科学省指定のスーパーグローバルハイスクール(SGH)支援のため、徳島県立城東高等学校のインドネシア研修に企業側として引率をした時の写真。訪問先の高校教諭と一緒に。

高校卒業後、徳島の片田舎から徳島市を飛び越え、いきなり東京に出て来てしまいましたので、当時の入学式の時点から戸惑うことばかりでした。テレビで見かけた日本武道館で入学式が行われ、その日のうちに長万部に旅立って行った基礎工学部の同期を誰も分からず見送った光景は今でも脳裏に焼きついてます。化学と数学が好きで、ご縁あって製薬学科に入学し、マイクロカプセルへの興味から研究室は薬品物理化学教室を選択しました。4年時は理科大内でマイクロカプセルの物性研究をしていたのですが、大学院時代は恩師の牧野公子先生の勧めで、東京女子医科大学で研究するチャンスいただきました。ポリマー重合から血小板とマイクロカプセルの相互作用まで、幅広い経験を積むことができたこと、他大学や企



会社の中庭にて

業の方とも研究を通じて知り合うことができたのも、女子医大で研究する機会をいただいたお蔭だと感じています。

「せっかくのご縁だし、好き嫌い無しで、とりあえず一度はやってみるか!」これまでの人生、私はいろいろなご縁に導かれ、自分では思いもしないような環境や職場にも巡り合い、時には、その分野の経験が全く無いばかりか、興味すら無かったということもあるのですが、いただいたご縁に正面から向き合い、粘り強く取り組むことで何かが生まれ、次の道が開けていく…。



4年次研究室作業写真

もちろん、自分の想いや興味に正直であることは大切です、将来を設計することも大事なことなのですが、世の中は計画通りに行くことばかりではありません。この先、いろいろな世界に羽ばたいていく理科大生の皆さまには、時として直感やご縁といった不思議なチカラに身を任せてみるということも、頭のどこかにとどめておいていただければと思います。もちろん、いただいたご縁には誠実に取り組むということも忘れないでくださいね。



大塚グループ社員のボランティア活動 年5~6回海岸清掃活動を実施

千宗話云

Middle Standing

がんばる同窓生

第20回 坊っちゃん賞受賞 「建築は地球の一部」

建築家
三分一 博志 (さんぶいち ひろし) さん
三分一博志設計事務所主宰
(理工・建1992)



第20回坊っちゃん賞受賞

三分一博志氏は第20回坊っちゃん賞(平成30年)を受賞されました。三分一氏は1992年理工学部建築学科を卒業され、小川晋一アトリエを経て、三分一博志設計事務所を設立されています。

Interview

「建築は未来への手紙 三分一博志」

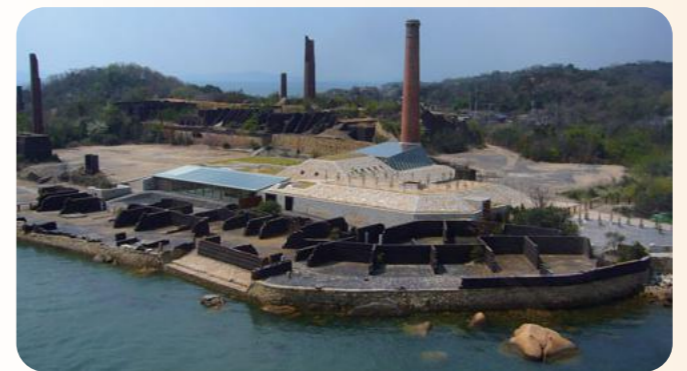
『野田建築50周年記念誌』(2017年10月発刊)より

有岡：以前から、「地球のディテール」という発言をされています。いわゆる建築のディテールよりも、大きなスケールで建築を考えているということでしょうか。

三分一：素材から建築のディテールまで丁寧に、かつこだわっていると自分では思っています(笑)。ただ、最終的なこだわりは、建築が地球の一部になるということ。

地球上のあらゆる素材を、他の生命体と一緒に考えながら、建築のあり方を考えている。それが「地球のディテール」という意味です。

「直島ホール」の場合は、リサーチをしていく中で、400年前から人々の知恵でつくられてきた集落のかたちが、手紙のように読み取れました。先人たちから受け渡されたものを、今度は400年後の人に、建築で記しておこうと思いました。



犬島精錬所美術館(岡山県 犬島)
建築:三分一博志 / アート:柳幸典 / 企画運営:公益財団法人 福武財団

「犬島精錬所美術館」と「直島ホール」

数々の作品を発表されていますが、なかでも「犬島精錬所美術館」は日本建築大賞と日本建築学会賞作品賞をダブル受賞、又、「直島ホール」は2017年に2度目の日本建築学会賞作品賞を受賞されました。

三分一氏は瀬戸内海周辺で多くの作品を手がけ、そこでは「動く素材」<風・水・太陽など>と地形との関係を読み解き、リサーチを重ね作品を仕上げていく。「犬島精錬所美術館」では犬島の自然エネルギーとして、太陽を空気を動かす動力として利用しています。又、「直島ホール」では2年半もの徹底したリサーチによって、集落では南北に風の流れがあることを知り、入母屋屋根に南北に抜ける風穴を設けることによって、そこを風が抜けるときの圧力差を利用して自然換気を行っています。



直島ホール(香川県 直島)
建築:三分一博志 / 建築主:直島町

垣野：「未来への手紙」とは、いい言葉ですね。

三分一：長く大事にもらえる建築は何かと考えたとき、まずは地球のディテールになっていること。それから、この建築はこの場所のためにつくったものだ并利用する人に思ってもらえること、それは大事にしています。

手紙を記したとしたとしても、それが人の目に触れて、残っていかないと意味がないと思いますからね。100年、200年、400年と、次の世代の人がこれを見てどう感じるか。そこまで伝えていくためには残っていないといけません。それには、ちゃんとしたメッセージが込められていないといけません。その場所を個人的な趣味のものとしてとらえていたら、後世に残してもらえないと思いますから。すなわちこの手紙(建築)には私のメッセージが刻まれているのではなく、過去からの先人の営みと地形と自然との関係がこの建築を通じて読み取れるようになっている事が大切だと思っています。

聞き手:
有岡三恵(理工・建1990)、垣野義典(理工・建1999、理工学部建築学科准教授)

森美術館での建築展(4/25~9/17)に出展

『建築の日本展:その遺伝子のもたらすもの』 東京・森美術館(六本木ヒルズ森タワー53階)

Asahi アサヒビール

洗練されたクリアな味、辛口。
SUPER "DRY"

Asahi BREWERIES LIMITED
ASAHI BEER
"DRY"
生
スーパードライ
生ビール
350ml

お酒

ビール 飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。のんだあとはリサイクル。すべては、お客さまの「うまい」のために。アサヒビール株式会社

AI(人工知能)技術で革新的に変わる酪農経営

大和田研究室

東京理科大学工学部 経営工学科

大和田 勇人 教授(理工・経営1983)

- ・専攻分野: 計算機科学・情報工学
- ・研究分野: データマイニング、機械学習



卒業生
コメント
植松 幸生(理工・経営2003)
NTTコミュニケーションズ株式会社
技術開発部

大和田研究室ではAIを活用して問題解決を行うとともに、積極的に国際会議等への発表を行っています。私も修士1年生から国際会議での発表を経験させて頂き、世界へ発信する大切さを教わりました。入社後は検索エンジンの研究開発や、データサイエンスプロジェクトの立ち上げに携わり、大きな成果に繋げることが出来ました。

また、米国のスタンフォード大学への社費留学をさせて頂く機会に恵まれたのは学生時代に世界への情報発信の大切さを教わったからと感じています。今後も世界へ誇れる成果を輩出し続けることに期待します。

ビッグデータからの規則性発見、知識抽出を行い、その結果を戦略的に活用していく方法論を研究しています。具体的には、生命・医療系のデータマイニング、クラウド型Webアプリのログからの消費者行動モデル生成など、特定分野の専門家や企業と連携して迅速かつ合理的に分析結果を引き出すアナリティクス工学を経営工学的視点から実践していきます。グローバル情報化の時代にマッチした学生を輩出するべく研究を指導します。

研究の概要 研究実施期間:平成28~32年度(5年間)

【背景】

- ・搾乳ロボットやセンシング等の新技術の普及
- ・先進的システムにより得られる豊富な情報
- ・乳用牛の健全性や生産性向上・経営改善のためには新技術の高度活用が必要

ビッグデータ活用技術(AIやIoT等)により「埋もれている『宝』」(個人情報)を高度利用

【次世代の革新的酪農の実現】

- ・各個体別に搾乳ロボット等を最適運用
- ・リアルタイムで情報把握、適時適切な飼養管理
- ・乳用牛の健全性向上・産次数増加
- ・生産性と生乳品質の大幅な改善
- ・経営改善・軽労化等の新たな酪農モデル実現

搾乳ロボット及びセンシング技術による個体情報を高度に活用する新たなトータルシステムの開発

体内データ取得システム

内分泌系・生化学系データを搾乳ロボット等により効率よくリアルタイムに収集

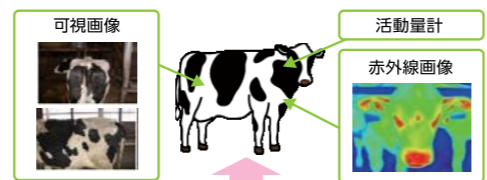
- 搾乳ロボットからのデータ取得(自動・リアルタイム)
- 乳汁中成分(自動分析器による計測)
- 黄体ホルモン → 繁殖系情報(発情時期・周産期病)
- LDH → 炎症情報(乳房炎・蹄病)
- BHB → ルーメン内情報(アシドーシス等)
- 飼養管理データ(搾乳量、電気伝導度、体細胞数等)



視覚データ取得システム

視覚系データ(画像・活動量・体温データ)を各種センサー等により効率よくリアルタイムに収集

- 各種センサーデバイスによるデータ取得(自動・リアルタイム)
- 画像データ : 3D・2Dカメラ画像 ⇒ BCS
- 活動量データ : 歩数・行動パターン ⇒ 繁殖・疾病情報
- 体温データ : 赤外線画像 ⇒ 体温・炎症情報



補完・補正による最適データ(必要最小限かつ十分なデータをビッグデータ解析を通じて適切に設定)

個人情報データベース~「酪農ビッグデータ」の構築

データ収集をIT化、個人情報をリアルタイム・自動で経時・網羅的に効率よくリアルタイムに蓄積

酪農ビッグデータの高度活用技術~AI(人工知能)の活用

- ◆機械学習 ~ データベースからルールを生成、データベース・エンジンを最適化
- ◆解析エンジン ~ 酪農ビッグデータから個体管理支援アドバイスをリアルタイムで演算・導出
- ◆アドバイス表示システム ~ エンジンからの出力をわかりやすく表現(携帯・PC上にリアルタイムで表示)

データベースを学習により自動更新・最適化

個人情報的高度活用による飼養管理支援システム(アドバイスシステム)



個人情報を高度に活用する新たな酪農経営モデルの実現!

乳用牛の健全性向上、生涯産次数増加(4.5産)、経営改善等の次世代型モデルの構築

壊れない堤防があればいいんだ

二瓶研究室

東京理科大学工学部土木工学科

二瓶 泰雄 教授
(東京工業大学工学部1992卒)

- ・専攻分野: 流体力学、水理学
- ・研究分野: 防災水工学、環境水理学



私たちの水理研究室には長さ20m、高さ2mにも及び実物大スケール水路があり、実際の状況に近い環境で実験することが可能です。実験の結果、越水の後、堤防の頂点から流れ落ちる水が堤防の土自体を大きく削る様子がわかりました。

地震、津波、洪水など、災害リスクが極めて高い場所に位置する日本。そのメカニズムの解明や対策技術の確立が急がれています。

二瓶研究室は、「水」に関わる防災、環境問題を解決し、安全安心で環境に優しい社会をつくるために必要な技術開発や街づくりに取り組んでいます。

同様に、私たちが作った新しい河川堤防の実験も行っています。土だけでは2分半ほどで崩れたものが、上部のみアスファルトで舗装すると約25分持ち、さらにジオシンセティクスを埋め込んだものでは、実験中は壊れないという想定した通りの結果ができました。このように、さまざまな状況を大型の実験で確認したり、理論を実証していくことは、重要なことだと考えています。

このままじゃ、洪水はなくなる。

水に係る防災や環境の研究を専門としていますが、特に水災害の調査やその対策技術開発に注力しています。近年、地球温暖化などの影響で想定を超えるような豪雨や洪水が起きています。2015年、茨城県・常総市の3分の1が浸水した鬼怒川の決壊では、現地調査を行い、洪水が広がっていく様子をシミュレーション解析して、そのメカニズムを明らかにしました。

また、新しい河川堤防の技術開発にも取り組んでおり、土の堤防(土堤)にジオシンセティクスというメッシュ状の繊維材料や碎石を埋め込んだ強い堤防を提案しています。この新しい堤防技術はオリジナリティが高く、世界最先端であると自負しています。

日本の一般的な河川堤防は、その地で入手した土砂を用いて作る「土堤主義」ですが、河川が越水した場合、土堤そのものが削られ決壊してしまいます。粘り強く、壊れにくい堤防技術が実用化できれば背後の市街地における洪水被害を最小限に食い止めることができると考えています。

土だけの堤防は、やっぱり弱かった。

堤防の決壊要因としては、一般に、越水・浸透・洗掘(浸食)と言われていますが、鬼怒川での堤防決壊の主要因は越水です。世界的に見ても土堤は越水に弱いのですが、実際の越水時に堤防がどのように決壊するのか不明な点もありました。

日本や世界を守る研究を、野田から

自然に囲まれて、広大な土地を有する野田キャンパスの最大の魅力は、大きな実験施設を製作できることです。私たちの水理研究室でも実物大スケール水路を導入し、他の大学にはできない大規模な実験を行っています。

また、自然災害は「土木」に限定されたものではなく、10の学科がそろった工学部では、建築学科とともに水害に強い家や街づくりを研究するなど可能性は無限に広がります。環境学、生物学、化学、社会学、放射線学など、さまざまな学際分野と融合して研究を進めることもできていると思っています。

大学は世の中の課題を見つけて、それを解決する方法論や実例を学ぶことができる場所です。そして、自分の将来に対してどのようなプランを立てたいかを自然と身に付けることができます。皆さんもぜひ工学部や当研究室で学び、技術開発を通じて社会貢献し、自らの進路を切り開いていってください。



卒業生
コメント
中山 朝陽(理工・土木2014)
小田急電鉄株式会社

水理研究室では様々な場所での観測や実験等、決して一人ではできない作業を研究室のメンバーの協力を得て行うことが印象的でした。現在は派遣先で幹線道路を整備する行政手続に向けた協議調整を行っておりますが、多くの関係者がいる中での仕事の進め方は研究を通じて培ってきたものが活かされていると実感しております。

研究等の成果が優秀な学生を表彰

学生表彰 東京理科大学大村賞 東京理科大学奨励賞

TUS Award 2017

研究、学業、その他学長が特に表彰に値すると認める者について推薦を依頼したところ、平成29年度は31件(学部7件、修士課程15件、博士後期課程9件)の推薦があり、審査の結果、10名及び1団体を表彰することとし、また、学生表彰者のうち大学院博士後期課程(博士課程含む)の者1名に対して東京理科大学大村賞を、学生表彰対象者のうち学部及び修士課程の9名及び1団体に対して東京理科大学奨励賞を授与することとなった。表彰者は以下のとおり。

審査結果

学生表彰 受賞件数:11件

(学部4件、修士課程4件、博士後期課程3件)

東京理科大学大村賞(博士後期課程対象):1件

東京理科大学奨励賞(学部又は修士課程対象):10件

1.学生表彰(個人10名、団体1件)

理学部第一部応用物理学科 4年	西 加純
工学部建築学科 4年	前田 佳乃・田中 彩英子・大岡 彩佳
工学部工業化学科 4年	長川 遥輝
基礎工学部電子応用工学科 4年	高橋 一希
理学研究科物理学専攻 修士課程 2年	吉末 百花
工学研究科機械工学専攻 修士課程 2年	岩合 美樹子
工学研究科機械工学専攻 修士課程 2年	小林 大晃
理工学研究科土木工学専攻 修士課程 2年	橋本 永手



東京理科大学大村賞

「東京理科大学大村賞」は、本学出身者でノーベル賞を受賞した大村智先生の栄誉を称え、平成27年度に創設された賞で、極めて優れた研究業績をあげ、本学学生の模範と認められる者を表彰することにより、若手研究者の育成と本学の研究活動の一層の活性化に資することを目的とし、その年度の本学大学院博士後期課程(薬学研究科薬学専攻博士課程を含む)修了生のうち、最優秀者1名に贈られます。

「東京理科大学奨励賞」は、平成28年度に創設した「東京理科大学生物・化学奨励賞(株式会社ちふれ化粧品、本学理学部第二部化学科卒業生の森野義男氏のご賛同)」を本学卒業生の方々から設立趣旨へご賛同を賜り、名称を「東京理科大学奨励賞」に改め、対象も本学の全専門分野に拡充した賞です。「生物・化学」分野の他、理工学部数学科卒業生の降旗真寿幸氏のご賛同による「数学・物理」分野、工学部工業化学科卒業生の岡本公爾氏のご賛同による分野、理工学部経営工学科卒業生の本山和夫氏のご賛同による「情報・マネジメント」分野の計4つの分野となります。

薬学研究科薬科学専攻 博士後期課程 3年	小野田 淳人
工学研究科電気工学専攻 博士後期課程 3年	高島 健悟
理工学研究科土木工学専攻 博士後期課程 3年	倉上 由貴

2.東京理科大学大村賞受賞者(個人1名)

薬学研究科薬科学専攻 博士後期課程 3年	小野田 淳人
----------------------	--------

3.東京理科大学奨励賞受賞者(個人9名、団体1件)

数学・物理

理学部第一部応用物理学科 4年	西 加純
理学研究科物理学専攻修士課程 2年	吉末 百花

生物・化学

工学部工業化学科 4年	長川 遥輝
総合化学研究科総合化学専攻修士課程 2年	熊澤 里菜

エンジニアリング

工学部建築学科 4年	前田 佳乃・田中 彩英子・大岡 彩佳
基礎工学部電子応用工学科 4年	高橋 一希
工学研究科機械工学専攻 修士課程 2年	小林 大晃
理工学研究科土木工学専攻 修士課程 2年	橋本 永手

情報・マネジメント

工学部経営工学科 4年	後藤 桃香
理工学研究科経営工学専攻 修士課程 2年	真木 智也

学生表彰(課外活動) 学長賞・学生支援センター長賞等を授与

課外活動において優秀な成績や功績のあった団体、個人の表彰式が3月14(水)に葛飾キャンパスにて行われました。学長賞は国際的、全国的な活躍に、学生支援センター長賞は地域的、あるいは加盟している連盟での活躍に対しての表彰です。また特別功労賞、功労賞は課外活動の発展に貢献したものの、特別奨励賞、奨励賞は今後の活躍が期待されるものに贈られます。

学長賞

団体 I部体育局 ソフトボール部

個人 熊田 凌(I部体育局 陸上競技部 理工・数4年)

学生支援センター長賞

団体 I部体育局 水泳部、陸上競技部

※受賞者一覧は本学ホームページをご覧ください。



本学大学院生が第8回(平成29年度)日本学術振興会 育志賞を受賞

本学大学院生が第8回(平成29年度)日本学術振興会育志賞を受賞しました。この賞の受賞は本学初の快挙です。この賞は、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励む若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、天皇陛下から御下賜金を賜り、将来、日本の学術研究の発展に寄与すると期待される優秀な大学院博士後期課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的に平成22年度に創設されたものです。

対象者は、人文学、社会科学及び自然科学の全分野において、大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる大学院生とされています。授賞式は3月6日(火)に日本学士院で行われました。

受賞者：薬学研究科薬科学専攻 博士後期課程3年
小野田 淳人

指導教員：薬学部薬学科教授 鍛冶 利幸

研究題目：大気環境中超微小粒子の妊娠曝露が次世代の子供の中枢神経系に及ぼす影響とそのメカニズムの解明

推薦機関：東京理科大学、日本薬学会、日本幼少児健康教育学会

受賞日：2018年1月30日

受賞者

小野田さんのコメント

博士後期課程の研究者としてきわめて名誉ある賞を受賞させていただき、大変光栄に存じます。卒業の直前で、これまでお世話になった数多くの先生方、共同研究者の皆様、生活面を温かく支えてくださった方々、そして、私を育ててくれた東京理科大学に最高の形で恩返しをすることができて、これ以上嬉しいことはありません。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。とても厳しい審査の中、私の研究分野について深く詳しい先生方に加えて、分野を異にする先生方にも高く評価して頂いたことは、これから研究者として歩む人生に大きな自信となります。これからも、次世代を担う子どもたちの健康を守るため、地に足を着けつつも、より高みを目指して、今まで以上に妥協せず、真摯に取り組んでいくことを約束いたします。また、「世界を牽引する研究を展開する」という気概を、本学の卒業生として見せられるように、努力を怠らず、さらに精進して参ります。



心は江戸商人。売り手よし、買い手よし、世間よし。
菅原印刷株式会社 東京都台東区蔵前3丁目15番1号 電話:03-5687-2211 Fax:03-5687-2310 <http://www.sugawara-p.co.jp/>

知的財産戦略を支援するプロ集団です

特許業務法人
太陽国際特許事務所®

□東京オフィス 〒160-0022 東京都新宿区新宿4-3-17 TEL 03-3357-5171 FAX 03-3357-5180
□横浜ランチ 神奈川県横浜市
□USオフィス Alexandria, VA U.S.A

<http://www.taiyo-nk.co.jp>



本学学生らが警察庁から感謝状を授与

亀有警察署の多角的ボランティアチームに参加している本学学生らに、警察庁より感謝状が贈られました。

これは地域の犯罪を防ぐために、ボランティアとして亀有警察署と連携しながら活動するという取り組みで、2017年7月より本学学生らがチームの要員として認定され、活動を行っています。

このたび学生らのサイバーパトロールの協力に対し、警察庁生活安全局長より感謝状が贈られ、2月20日に行われた贈呈式には学生代表3名が参加しました。

I部体育局洋弓部3年久米 竜太郎選手が2017年度全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会にて第3位入賞



平成29年10月7日から9日に「2017年度全日本学生フィールドアーチェリー選手権大会」が広島で開催されました。本学からは工学部電気工学科3年の久米竜太郎選手がコンパウンド部門にて第3位に入賞しました。

全国の舞台において、3項目の内2項目で大会記録を記録しました。また、その後行われたいくつかの大会でも上位入賞の記録を出しています。

「今後も日々精進し、更なる高みを目指していきます。応援よろしくお祈りします。」と久米選手はその喜びを語りました。

全国学生英語プレゼンテーションコンテスト 個人の部において奨励賞を受賞

本学学生が第6回 全国学生英語プレゼンテーションコンテスト 個人の部 において奨励賞を受賞しました。

受賞者 経営学部経営学科1年 寺西 未有

部門 個人の部

主催 神田外語グループ、読売新聞社

受賞日 2017年12月9日



東京理科大学は、**長万部町 地方創生事業**『再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネス』において、中心的な役割を担っています。

2018年3月には、長万部町のホタテ貝殻を用いたアルカリ培地とAI技術を活用して、町民の皆様が絶賛する高糖度ミニトマトを完成し、出荷を開始しました。

長万部での地方創生事業は、以下のURLをご参照ください。

<http://osyamanbe.jp/>

東京理科大学インベスト・マネジメント(株)



学部学科再編のお知らせ

学校法人東京理科大学では、将来にわたって発展し続けられるよう、再編計画を検討してきました。18歳人口の減少に対応するためには、大学の教育力・研究力を更に高めるとともに、校地・校舎の整備も重要な課題となります。この一環として、2013年に東京都葛飾区にキャンパスを構え、そこに移転した工学部、基礎工学部および応用物理学の教育研究環境の改善に努めてきました。この葛飾キャンパスに関しては、2009年3月26日に本法人と葛飾区が締結した基本協定書第10条に基づき、2018年2月23日に第

二期用地を購入する契約を締結しました。

第二期用地の活用法についてもかねてより議論してきましたが、まず薬学部に関しては、臨床研究・教育、創薬研究および社会人教育の一層の充実を図ることで更なる発展を目指すため、現在の野田キャンパスから葛飾キャンパスに移転する方針としました。また、葛飾キャンパスを新技術、新産業創造の中心として発展させることを目的に、基礎工学部を改組拡大するとともに、工学部を同キャンパスに集約することとしました。再編の概要は以下のとおりです。

【再編の概要】

- 1 2022年4月に、工学部工業化学科及び工学研究科工業化学専攻を神楽坂キャンパスから葛飾キャンパスに移転する。
- 2 2025年4月に、薬学部(薬学科及び生命創薬科学科)および大学院薬学研究科を野田キャンパスから葛飾キャンパスに移転する。
- 3 基礎工学部の学部名を変更し、理学部第一部応用物理学を物理工学科(仮称・440名)に改組転換し統合する。また、2023年4月に、機能デザイン工学科(仮称・440名)を新設し、5学科体制とする。
- 4 改組後の基礎工学部は、1年次の長万部キャンパスにおける全寮制教育を解消し、葛飾キャンパスにおいて4年間の一貫教育を行う。長万部キャンパスは、国際化のための教育の場として活用するべく検討を進める。



※本計画は構想中であり、内容は変更となる可能性があります。再編の詳細につきましては、順次、ホームページ等でお知らせします。

第10回 坊っちゃん科学賞 研究論文コンテスト (高校部門) 研究論文の募集!!

論文応募票 平成30年7月31日(火)(学校経由)
 研究論文締切 平成30年8月31日(金)(必着)
 研究発表会表彰式 平成30年10月28日(日)
 会場 東京理科大学神楽坂キャンパス
 問い合わせ 東京理科大学 理窓会
 「坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト」事務局
 TEL: 03-3260-0725 FAX: 03-3260-4257
 E-mail: risokai@admin.tus.ac.jp
 URL: <http://www.risokai.com/>

第21回 坊っちゃん賞公募いたします!!

- 1.「坊っちゃん賞」は東京理科大学、山口東京理科大学、諏訪東京理科大学の名を高めることに多大なる寄与・貢献した同窓生及び在校生に「理窓会から」贈られる賞です。東京物理学校および上記3大学に在籍または卒業された方。他大学出身者であっても本学で学位(修士、博士)を取得された方も対象になります。
- 2.応募締切日は、平成30年10月26日(金)。
- 3.自薦、他薦を問いません。
- 4.詳しくは理窓会ホームページをご覧ください。
<http://tus-alumni.risokai.tus.ac.jp/>

東京理科大学同窓会会員の皆さまへ

「待ってた人が、ここにいた。」

自然体でいられるのは二人の価値観が似ているから。
お互いの思いを大切に、価値観の近い方を丁寧に紹介しています。

結婚

- 芙蓉グループ会員会社の皆さまを中心とした、安心で確かなメンバー層です。
- 成婚率業界トップクラス。3,000名を超えるご結婚実績です。

ご入会資格 東京理科大学同窓会会員の皆さまとご家族、及びそのご紹介による方々もご利用いただけます。

お申込金 申込金は80,000円(税別)2年間有効で、月会費等の費用は一切かかりません。


詳しくはホームページをご覧ください。

芙蓉ファミリークラブ

<http://www.fuyou-fc.jp>

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-1-1 ホテルグランドハリス5F
 【営業時間】AM10:00~PM5:00 【定休日】火曜、祝日、年末年始(土曜・日曜オープン)
 TEL: 03-3264-1931 E-mail: info@fuyou-fc.jp

携帯電話からは <http://www.fuyou-fc.jp/m/>



小学生のための科学体験教室「チャレンジ道場」

よく飛ぶ紙飛行機をつくろう



理窓会埼玉支部の社会貢献活動 科学体験教室「チャレンジ道場」

授業の一環として、午前9時～12時で実施

日時 平成29年12月20日(水)
午前8時15分(第1校時)～12時(第4校時)

会場 加須市立水深小学校 体育館

対象学年 6年生2クラス 75名

指導者等 齊藤進(理・物1970)、長澤智則(理・化1973)
中埜正一(理工・電1972)、他卒業生2名

実施内容

(1) 午前8時30分 校長先生挨拶

吉澤教頭先生の司会で体験教室が始まる。最初に、横山安男校長先生から「今日は東京理科大学の先生や卒業生の皆さんが、紙飛行機づくりを教えに来てくれました。なぜ、あの飛行機が飛ぶことができるのか、飛行機づくり体験を通して考えてほしい。そして、紙飛行機がよく飛ぶためにはどんな工夫が必要かなど、作るおもしろさ・考えるおもしろさ・学ぶおもしろさを味わってほしい」と挨拶し、指導者の齊藤先生と4人の補助者を紹介する。

(2) 齊藤先生の話

「空気は実は重い物質であること」「飛行機を浮き上がらせる力(揚力)は主翼によってつくられる」「飛行機は飛行機を浮き上がらせる力(揚力)と飛行機の重さ(重力)がつり合って水平に飛ぶ」ことなどをプリントと黒板を使って詳しく説明がされた。

(3) 紙飛行機づくり

体育館で齊藤先生の指導のもと、各自が思い思いに飛行機づくりを行う。

(4) 主翼や尾翼等の調整

体育館において齊藤先生の指導のもと軽く飛ばして、主翼や尾翼の調整を行う。「すぐ墜落してしまう」「右に回ってしまうのはどこを曲げるといいのですか」など、近くにいた補助者に質問をする姿があった。



(5) 実際に紙飛行機を飛ばす

広いグラウンドにおいて、各自がつくった飛行機を飛ばす。生徒一人ひとりが飛行機を飛ばす角度やゴム紐の引く力を友達と相談しながら工夫をする姿、歓声を上げながら楽しそうに飛ばしていたのが印象的であった。

(6) 終わりに

本事業は理科大卒業生の持つ専門性及び教育力を活用する一環として、近年「小学生の理科離れ」が叫ばれる中、紙飛行機づくりを通して理科に興味・関心をもつ児童の育成に僅かでも貢献したいと考え理窓会埼玉支部有志が企画したものである。

今回は水深小学校の横山校長先生のご厚意により、学年行事として授業日の午前中の時間を使って「紙飛行機づくり」を行うことができた。理科(科学)に対する興味や関心、感動をさらに得られるよう「科学体験教室(チャレンジ道場)」を実施していきたいと考えている。

紫外線やまぶしさから眼を守る!

長時間、目を紫外線にさらしていると、眼病リスクが高まります。眼に入る光を自動的に調節することで、目の疲れ、ストレスを抑えます。

Transitions® 調光レンズ



メガネで出来る健康生活

メガネドラッグ

近隣店舗はこちらから
<http://www.meganedrug.com/>



東京理科大学のルーツを求めて……【東京物理学校 夜明け前①】

東京理科大学 維持会会長 森野 義男(理・化1978)

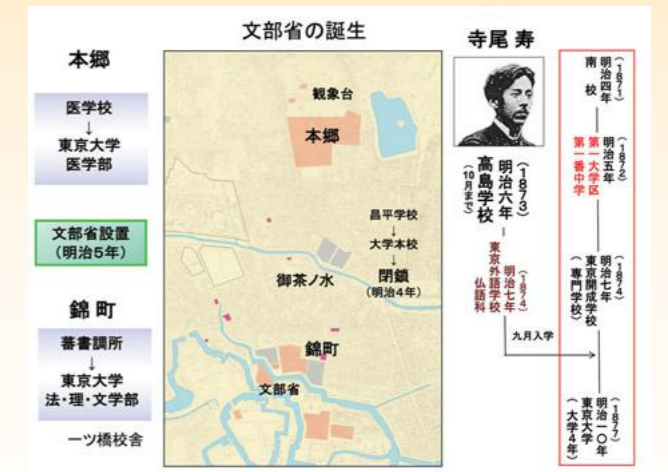
本学の理念である「自然・人間・社会とこれらの調和的発展のための科学と技術の創造」はどこで生まれてきたのでしょうか?このルーツを求め時代背景など交えながら数回に分けて、本学の草創期を連載する。

文部省設置と東京大学の開校

明治政府は外国との交流を禁じていた江戸時代の鎖国政策をやめて、外国からの文化の移入を積極的に始めた。西洋医学はオランダからドイツ医学を導入し、科学・芸術はフランスから導入し、陸軍もフランス式を採用した。このため、専門分野に応じてその国の言語を学ぶ必要があった。政府はそれぞれの分野で最先端の学問や技術を導入したと推測される。政府になって間もない明治3年(1870年)、欧米に追いつくために、欧米から多数の外国人教師「お

雇い外国人」を招き、青少年に外国の学問を学ばせることにした。「大学南校」(のちの開成学校)を設置し西洋教育に力を注いだ。この学校には各藩から石高により1~3名の学問や品行に優秀な子弟を藩の費用負担で進学させることを命じた。(この子弟を貢進生と呼ぶ。)当時は言語学校ではなく、各専門分野の国籍に応じて、言語の習得から始めた。この貢進生を徹底して翻訳者として鍛えた。

政府は明治5年(1872年8月3日)に布達の中で「邑(むら)に不学の戸なく家に不学の人ならしめん事」で有名な文部省を設置し学制改革を実施した。フランスを手本としオ



ランダ・ドイツ・アメリカの折衷した学制を採用した。学校制度の体系として「小学校、中学校、大学校」の3段階を基本とする事が定められた。大学校では教授言語もそれぞれの専門分野の指導言語を使用していた。

明治6年に開成学校(専門学校)を設置し、教授言語は原則として英語に統一した。「語学課程」(普通科)に、「専門学課程」(専門科)で法学・化学・工学・鉱山学・諸芸学(算術・代数・幾何・天文初歩・気象観測・測量実習)の五科を新設した。しかし、鉱山学はドイツ語、諸芸学はフランス語での授業であったため廃止することになったが、理学の重要性から新たにフランス語物理学科を設けた。同年には語学課程が分離独立し東京外国語大学と東京外語学校となる。明治7年に残りの専門課程は開成学校から東京開成学校に改称され、修業年限3年ないし4年の「本科」に再編した。

明治10年に東京開成学校は医学専門学校や東京外語学校や蕃書調所(後の洋書調所《今日でいう図書館に相当するものと思われる》)に改称されると併合し今日の東京大学となる。このフランス語物理学科の卒業生が東京物理学校の出発点となっていくのである。

“東京理科大学”としての最後の卒業式 ~諏訪東京理科大学~

平成30年3月23日(金)、平成29年度学位記授与式を挙行いたしました。本年度は、工学部機械工学科43人、電気電子工学科25人、コンピュータメディア工学科40人、経営情報学部経営情報学科35人、システム工学部電子システム工学科5人、機械システム工学科4人の計152人に学士の学位を授与しました。また、大学院工学・マネジメント研究科修士課程8人に修士の学位を授与しました。

また、樋口茅野市副市長をはじめとする来賓の方々にご臨席いただき、加えて学校法人東京理科大学からも本山理事長、増淵東京理科大学次期理窓会会長が参列しました。

河村学長は告辞において、4月から公立大学となり私立大学としては最後の卒業式となることから、これまでの大学の歩みを振り返るとともに、ピョンチャンオリンピックのスピードスケートで金メダルを獲得した茅野市出身の小平奈緒さんの言葉「昨日の自分を超越する」を紹介して、「本学で学んだ



のはすでに『昨日の自分』です。どうか『昨日の自分』を超えて、着実に前へ進んでいただきたい。そして皆さんにとっても、その努力が報われることを、心から願っています。」と卒業生、修了生にメッセージを送りました。

平成30年4月、公立大学法人公立諏訪東京理科大学へ移行。諏訪東京理科大学は諏訪地域6市町村による諏訪広域公立大学事務組合が設立した公立大学法人が運営する公立大学として生まれ変わり、342名の新入生とともに新年度を迎えました。

今年のホームカミングデーは神楽坂キャンパスです!

2018/10/28(日)

2018年5月～2019年3月 理窓会主要行事予定

理窓会支部長会	2018/ 6/24(日) 神楽坂キャンパス
理窓会代議員総会	
第13回東京理科大学ホームカミングデー	2018/10/28(日) 神楽坂キャンパス
第10回坊っちゃん科学賞発表会	
第15回理窓会会長杯ゴルフ大会	未定 アスレチックガーデンゴルフ倶楽部
第110回理窓会新年茶話会	2019/ 1/5(土) ホテルメトロポリタン エドモント
第20回坊っちゃん賞授賞式	

2018年5月～2019年3月 理窓会支部行事予定

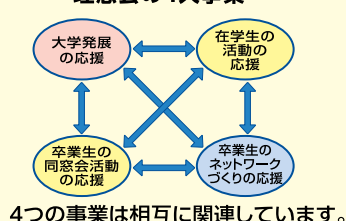
岡山支部	5月13(日)	14:00～18:00	ピュアリティまきば
東京支部	5月27(日)	13:30～18:30	神楽坂キャンパス1号館17階記念講堂及び大会議室
大阪支部	6月 2(土)	11:00～	中央電気倶楽部
滋賀支部	6月 初旬		
栃木支部	6月30(土)	11:00～14:00	栃木グランドホテル
埼玉支部	7月 1(日)	14:00～	ウェスタ川越
神奈川支部	7月28(土)		横浜ローズホテル
愛媛支部	8月 5(日)		にぎたつ会館
千葉支部	8月18(土)	15:30～19:15	ポートプラザちば
富山支部	8月18(土)		
新潟支部	8月18(土)		高陽荘(上越市)
遠州理窓会	8月25(土)	16:30～20:00	グランドホテル 4階スズキゲストハウス
秋田支部	10月20(土)	15:00～	ホテルパールシティ秋田竿燈大通り
福岡支部	11月23(祝・金)		
熊本支部	11月23(祝・金)		

全卒業生が理窓会の会員です。理窓会会費と会員のボランティア活動が理科大コミュニティの発展に貢献しています。
【理窓会費の納入に是非ともご協力をお願いします。15年会費3万円、年会費3千円です。】

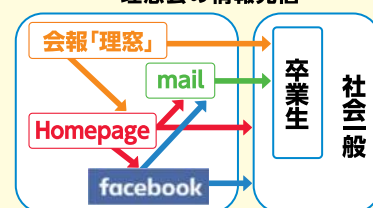
理窓会コミュニティ



理窓会の4大事業



理窓会の情報発信



発行者 東京理科大学校友会《理窓会》 | 編集委員会 委員長/近藤明(工・工化1973)
会長 増淵忠行(理・物1968) | 委員/大岩昭之(工・建1968)、齋藤常男(理・物1971)、前田光男(理・化1981)

理窓会事務局 E-mail: risoukai@alumni.tus.ac.jp ホームページ: <http://tus-alumni.risoukai.tus.ac.jp> fb: <https://facebook.com/risoukai.tus>
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂2-6-1 PORTA神楽坂7階 Tel:03-3260-0725 Fax:03-3260-4257